

ベーシックウイング

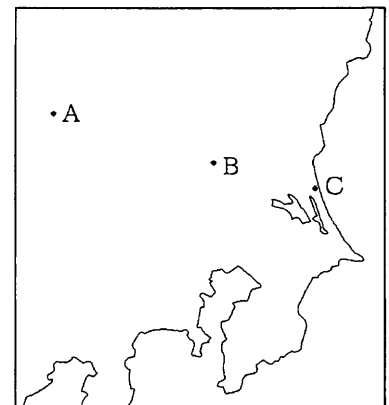
中学社会

テーマ 地理 12 関東地方

1 次の文を読み、あとの問いに答えなさい。

東京都の郊外では、かつて市街地向けの（①）づくりがさかんだった。（②）世界大戦後は、郊外の農村の（③）が進み、（④）農家の数が減っただけでなく、農家の数も急速に減少した。

群馬県などの関東地方北部に広がる台地はもともと（⑤）地帯であったが、大消費地に近いことを利用して、近年は都市向けの野菜作りや畜産がさかんになった。



(1) 文中の（ ）にあてはまる語句を答えなさい。

(2) 下線部について、次の①～③の市町村の位置を地図中のA～Cから、また、①～③の市町村でさかんに栽培されている作物を下から選んで書きなさい。

- ① 栃木県栃木市 ② 茨城県旭村 ③ 群馬県嬬恋村

キャベツ いちご メロン

(3) 現在でも、都市近郊の住宅に囲まれた農地で野菜づくりを営み、環境保全に役立っている農地を何といますか。

2 次の文の（ ）にあてはまる語句や数字を下から選んで書きなさい。

東京都と神奈川・埼玉・千葉の3県をあわせて（①）とよばれており、日本の総人口の約（②）がここに集まっている。このように、東京だけに政治や経済の働き、人口が集中する状況を（③）という。（③）は、交通渋滞・住宅難・通勤地獄など多くの（④）をひきおこしており、特に（⑤）の処理問題は深刻である。また、東京では工場跡地などに新しく超高層ビルを建てる（⑥）がさかんで、東京湾の（⑦）地にも高層ビルや都市施設がつけられている。

3分の1 4分の1 5分の1 干拓 ごみ 再開発 一極集中
過密 都市問題 東京大都市圏 都心 埋め立て